

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 13-002

PDCA	事務事業名	墓地管理事業	部課等名	市民経済部 環境課	担当	高橋	
					内線等	333	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第3節 生活環境の向上 基本施策： 3. 環境衛生対策 単位施策： (1) 斎場・市営墓地の整備 個別施策： ②市営墓地					
	根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律、半田市墓地条例					
	対象・目的	市営墓地が故人をしのぶ場として相応しい施設となるよう、利便性、公衆衛生、福祉の立場から適切な管理運営を行うよう努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	墓地内の樹木剪定・除草及び清掃を適切に行い、墓地全体が利用者にとって快適な空間となるよう管理する。 また、新規申込、使用権承継、住所等変更、埋蔵物届等の各種手続を利用者に正しく行ってもらうことで、墓地台帳の適正化を図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		樹木剪定及び除草委託日数	54	53	56	日	
		老人クラブ等による除草清掃活動	36	34	35	回	
		使用権承継許可申請の処理件数	1,572	885	1,361	件	
		事業費	13,025	13,122	13,404	千円	
		人件費	7,931	6,904	9,198	千円	
		総事業費	20,956	20,026	22,602	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	墓地面積1㎡あたり管理コスト	235	224	253	円		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		使用者不明区画の解消件数	実績値	1,572	1,117	1,648	区画
			目標値	1,000	1,100	1,680	
		無縁改装告示の実施件数	実績値	0	0	—	区画
			目標値	50	50	—	
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ある			
	事業の評価・課題	B 市営墓地約18,000区画のうち、使用者不明の区画について、昨年度に引き続き置手紙を実施し、承継及び返還を促した。年度当初に4市営墓地計約2,300区画あった置手紙未実施の使用者不明区画に対して実施し、1,425区画について、承継や返還手続きを完了することができた。 これで、全市営墓地の使用者不明区画に対する置手紙が一通り完了したが、残る承継手続き未完了区画の対応については、今後の課題である。 また、令和2年度に策定予定の「半田市墓地管理計画」の参考とするため、墓地使用者及び墓地を使用していない市民、計2,000人に対して、今後の市営墓地のあり方に関するアンケート調査を行い、55%の高い回収率を得た。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 置手紙を実施しても連絡がない区画については、再度の置手紙などにより、使用者の把握に努める。また、置手紙に対して連絡はあったが、承継等の手続きが済んでいない区画については、電話などによる使用者変更等手続きの催促を行う。 令和2年度には、市営墓地をより快適な施設として整備し、適正に維持管理するための基本方針を定めた「半田市墓地管理計画」を策定する。					
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		墓地管理計画の策定完了			—		
		置手紙で判明した区画使用者で、継承手続き未済者数			0	人	